

令和7年第1回福祉文教常任委員会 要点記録

開閉会日時		令和7年4月21日（月曜日）				開会	9:52		会議場所		別海町議会 委員会室2・3	
						閉会	14:29					
委員の出欠		2 番	吉田 和行	出席	4 番	伊勢 徹	出席	5 番	貞宗 拓雄	出席		
		7 番	横田 保江	出席	8 番	田村 秀男	出席	10 番	外山 浩司	出席		
		13 番	中村 忠士	出席								
出席説明員	福祉部	福祉部長			福祉部次長			介護支援課長			老人保健施設すこやか事務長	
		宮本 栄一	出席	石戸谷友絵	出席	高橋 勇樹	出席	渡辺 久利	出席			
		福祉課主幹			福祉課主幹			介護支援課主査			介護支援課主査	
		澤田 憲一	出席	松本 静香	出席	天神 幸子	出席	山崎 さおり	出席			
		居宅介護支援事業所長			地域包括支援センター長			老人保健施設すこやか主幹			老人保健施設すこやか主幹	
		大道 詳子	出席	井川 仁	出席	高橋 知美	欠席	門間 さおり	欠席			
		老人保健施設すこやか主査			老人保健施設すこやか主査			老人保健施設すこやか主査			訪問看護ステーションやまびこ所長	
	信免 明花	出席	佐藤 裕美	出席	加藤 真末	出席	堀 留美	欠席				
	保健生活部	保健生活部長			保健生活部次長			保健生活部次長			生活環境課長	
		小川 信明	出席	谷村 将志	出席	千葉 宏	出席	上田 健一	出席			
		母子健康センター長			町民課主幹			町民課主査			町民課主査	
		根本 博美	出席	平下 奈津子	出席	永田 恵一	出席	加藤 美和	出席			
		生活環境課主幹			生活環境課主査			生活環境課主査			保健課主幹	
		佐藤 政士	出席	小野 絵里	出席	中川 雅章	出席	畠澤 みどり	出席			
		保健課主幹			保健課主査			保健課主査			母子健康センター主幹	
		佐伯 祐司	欠席	岩光 理代子	出席	對馬 恵子	欠席	高橋 美香	出席			
		母子健康センター主査			母子健康センター主査			こども家庭センター総括支援員			こども家庭センター主査	
		渡辺 久恵	出席	佐藤 睦美	出席	能登 麻奈美	出席	高橋 典子	欠席			
		こども家庭センター主査			こども家庭センター主査							
	佐藤 佐智子	欠席	林 美紀子	欠席								
	教育委員会	教育部長			指導主幹			指導主幹			教育部次長	
		干場 みゆき	出席	稲村 和典	欠席	野口 泰秀	欠席	角川 具哉	出席			
		教育部次長			生涯学習センター長			指導参事			生涯学習課長	
		田畑 直樹	出席	福原 義人	出席	瀬川 航平	出席	立澤 雅彦	出席			
		西公民館長			東公民館長			図書館長			学務課主幹	
		竹中 利哉	出席	門間 勝司	出席	堺 啓	出席	高津 寛人	出席			

令和7年第1回福祉文教常任委員会 要点記録

出席説明員	教育委員会	学務課主幹		学務課主幹		学校教育課主査		学校教育課主査	
		武田 文吉	出席	伊井 崇史	欠席	戸野 晶雄	出席	真籠 美香	出席
		生涯学習課主幹		生涯学習課主査		給食センター主査		中央公民館副館長	
		恒川 敦史	出席	松本 芳樹	出席	大森 晴海	出席	今野 学	欠席
		西公民館副館長		東公民館副館長		図書館主査		郷土資料館副館長	
		竹本 誠	出席	福原 仁史	欠席	吉田 美奈子	出席	石渡 一人	出席
		郷土資料館主幹							
		戸田 博史	出席						
	別海病院	事務長		事務課長		事務課主幹		事務課主幹	
		三戸 俊人	欠席	槇木 直人	欠席	大森 圭介	欠席	奈良 司	欠席
委員外の出席		議長	西原 浩			合計		1名	
事務局職員		主幹	木幡 友哉			合計		1名	
傍聴者数		議員	0名	報道関係者	0名	合計		0名	

会議に付した事件及び会議結果など	
発言者	会議経過 ※所管毎に議事を行う事情等により議事番号が前後することがある。
委員長 9 番 外山	9:52 開会、出席委員 7 名、委員外 1 名、会期 1 日。
	福祉部所管事務調査
	議事 1 所管事務調査について
	(1)第 7 次別海町総合計画について
委員長 9 番 外山	・第 7 次別海町総合計画について審議を開始する。本年度は 7 名の委員体制で、4 月に設置されたことも家庭センターなど新体制での調査を行う。
福祉部長 宮本	・福祉課所管分から順次説明し、質問を受ける。
福祉課主幹 澤田	・高齢者等バス・ハイヤー共通利用券交付事業について、予算額 1,977 万 7,000 円。令和 7 年 7 月から福祉有償運送団体を追加し、全額使用者に 1 回限り追加交付を実施。追加交付分として 300 人×2 万円の 600 万円を見込む。
福祉課主幹 松本	・町立へき地保育園学校給食提供準備事業について、予算額 371 万 6,000 円。4 月 7 日から上春別、西春別、上風連の 3 園で給食提供を開始した。
介護支援課長 高橋	・介護職員確保対策事業について、予算額 1,512 万 2,000 円。介護職員初任者研修、確保対策、就業支援補助、処遇改善補助を実施。在宅福祉サービス事業について、予算額 1,361 万円。新規事業者により配食サービス地域を拡充する。
委員長 9 番 外山	質疑
委員 4 番 伊勢	・中標津町ハイヤー会社との協定による利用実績はどうか。
福祉課主幹 澤田	・令和 6 年 7 月開始だが、まだ利用は多くない。周知を強化していく必要がある。
委員 4 番 伊勢	・ライドシェア対策についてもっと積極的に取り組むべきではないか。
福祉部次長 石戸谷	・広報等で継続的に PR を実施する。
介護支援課長 高橋	・介護保険事業計画の第 9 期 3 年間で高齢者の移動手段対策を検討中である。
委員 2 番 吉田	・福祉有償運送を実施する団体は何団体を想定しているか。
福祉課主幹 澤田	・介護保険と障害福祉サービス事業所で 3 団体を見込んでいる。
委員 5 番 貞宗	・バス・ハイヤー券の対象者数と利用者数はどうか。
福祉課主幹 澤田	・70 歳以上 3,379 人、障がい者 869 人が対象。交付率は高齢者 25%、障がい者 33%を見込む。
委員 5 番 貞宗	・へき地保育園の存続基準はあるか。
福祉部次長 石戸谷	・人数による基準は設けておらず、地域との協議等により判断している。
委員 5 番 貞宗	・配食サービスの道東あさひ農協について、栄養士不在での責任体制はどうなっているのか。
介護支援課長 高橋	・介護保険法の規定に基づき適切に運営されている。栄養士設置義務はないが、調理に関する規定は遵守している。
委員 8 番 田村	・バス・ハイヤー券の所得制限者数はどうか。
福祉課主幹 澤田	・1,003 人の申請者中 16 人が非該当で、割合は 1.6%である。
委員 8 番 田村	・へき地保育園の給食代替食とは何か。
福祉課主幹 松本	・小中学校の長期休業中に給食センターが稼働しない期間のお弁当提供である。
委員 8 番 田村	・在宅福祉サービス事業の財源内訳について教えてほしい。
介護支援課長 高橋	・ふるさと応援基金 850 万円、利用者負担額 505 万 1,000 円が内訳である。
委員 4 番 伊勢	・新規参入業者は神田新聞店合同会社か。

介護支援課長 高橋	・そのとおりで、宅配クックワンツースリーが運営主体である。現在は根室から配送しているが、利用件数増加により町内事業所設置も検討中である。
委員 13 番 中村	・新たに利用可能になる団体や業者について具体的な周知が必要ではないか。
福祉課主幹 澤田	・広報回数を増やし、民生委員やケアマネジャーを通じた直接的な周知を図る。
委員 13 番 中村	・外国人介護従事者の人数推移はどうか。
介護支援課長 高橋	・令和 6 年度 6 名から令和 7 年度当初 8 名に増加している。
委員 13 番 中村	・外国人介護従事者の住宅確保対策はどうか。
介護支援課長 高橋	・介護サービス事業者連絡協議会で協議を進めている。
委員長 9 番 外山	10:54 福祉部所管事務調査終了、休憩。
委員長 9 番 外山	11:07 再開。
	保健生活部所管事務調査 議事 1 所管事務調査について (1)第 7 次別海町総合計画について
保健生活部長 小川	・新体制での事業説明を行う。
保健生活部次長 谷村	・出産祝い金贈呈事業(1,046 万 5,000 円)、子ども医療費助成事業(5,979 万 4,000 円)、戸籍記載事項登録事業(723 万 8,000 円)、特定健診受診率向上事業(447 万 2,000 円)を実施する。
生活環境課長 上田	・エゾシカ被害対策事業(4,746 万 8,000 円)で春秋駆除 2,500 頭、囲いわな 1,100 頭を目標とする。有害鳥獣対策事業(419 万 2,000 円)でヒグマ捕獲檻等を購入。ヒグマ春期捕獲事業(125 万円)を 4-5 月に実施。高齢者交通事故サポート補助金(90 万円)で急発進防止装置設置を支援する。
保健生活部次長 千葉	・带状疱疹予防接種助成事業(418 万 9,000 円)を継続し、令和 7 年度から国の定期接種も開始。
母子健康センター長 根本	・妊婦のための支援給付金事業(917 万円)、妊娠婦安心出産支援事業(311 万 9,000 円)、母子健康センター改修事業(190 万円)を実施する。
保健生活部次長 千葉	・子育て世帯訪問支援事業(20 万円)、乳児家庭全戸訪問事業(57 万 6,000 円)を実施する。
委員長 9 番 外山	質疑
委員 4 番 伊勢	・出産祝い金の商品券は COWCOW と同じエリアで使用可能か。
保健生活部次長 谷村	・別海町商工業振興組合発行で COWCOW と同じ場所で使用できる。
委員 8 番 田村	・特定健診受診率と保健指導実施率は基準をクリアしているか。
保健生活部次長 谷村	・30%、15%の基準はクリアしており減点はない。マイナンバーカード利用登録は 3 割に達していない。
委員 4 番 伊勢	・エゾシカ駆除の有効利用頭数はどの程度か。
生活環境課長 上田	・春秋駆除の 1 割と囲いわな全頭(299 頭)で約 500 頭が有効利用されている。
委員 4 番 伊勢	・令和 6 年度の高齢者駆除数は何頭か。
生活環境課長 上田	・5 頭である。
委員 13 番 中村	・囲いわなの実績 300 頭に対し目標 1,100 頭だが、改善策はあるか。
生活環境課長 上田	・扉を白く塗装する工夫により効果が見られ、来年は全扉を白く塗装予定である。
委員 8 番 田村	・高齢者交通事故サポート補助金の対象年齢を 65 歳以上とした根拠は何か。
生活環境課長 上田	・国の補助事業や近隣市町村の状況を参考に 65 歳以上と設定した。標準価格は取付費込みで 5 万

委員 4 番 伊勢 母子健康センター長 根本 委員 2 番 吉田 母子健康センター長 根本	円前後である。 ・妊産婦の通院先実績はどうか。 ・過去 3 年平均で釧路が 4 割で最多、25 キロ未満(中標津)が 3 割強。昨年は中標津が最多だった。 ・妊産婦安心出産支援事業の道補助対象外者への町独自支援について確認したい。 ・道補助対象者分は道から補助が入り、対象外者分は町独自財源で支援している。
委員長 9 番 外山 委員長 9 番 外山	12:01 保健生活部所管事務調査終了、休憩。 13:26 再開。 教育委員会所管事務調査 議事 1 所管事務調査について (1)第 7 次別海町総合計画について
学務課主幹 武田 学校教育課主査 真龍 生涯学習課主幹 恒川	・小学校情報機器活用支援体制整備事業(1,104 万 3,000 円)、中学校情報機器活用支援体制整備事業(1,447 万 8,000 円)で GIGA スクール運営支援センター運営を委託。中学校は教職員端末更新とネットワーク再構築により高額となっている。 ・いじめ・不登校問題対策事業で教育支援センター「ふれあいるーむ」を運営。現在 7 名が通級している。 ・学校・家庭・地域連携協力推進事業(486 万 9,000 円)で放課後子供教室を尾岱沼と上風連で実施する。
委員長 9 番 外山 委員 2 番 吉田 学務課主幹 武田	質疑 ・GIGA スクール運営支援の人員体制と毎年の経費について確認したい。 ・オーレンスに委託しており、人数設定はない。アカウント登録等の定期業務もあり、毎年同程度の経費が必要である。
委員 13 番 中村 教育部次長 角川 委員 8 番 田村 学務課主幹 武田	・令和 6 年度のトラブル対応件数はどうか。 ・資料を持参していないため後日回答する。 ・タブレット端末の更新計画と財源確保はどうか。 ・令和 7 年度に更新予定で、文科省補助金 3 分の 2 とふるさと応援基金を活用する。運営経費は財源厳しい中で基金を充当しているが、将来的には経常経費への移行も検討する。
教育部次長 角川	・補助率は 3 分の 2 で上限 5 万 5,000 円。経常経費圧迫の中で基金を活用しているが、基金減少時は見直しが必要である。
委員 2 番 吉田 指導参事 瀬川 委員 13 番 中村 指導参事 瀬川 委員 13 番 中村 教育部次長 田畑 学校教育課主査 真龍	・不登校児童生徒数と通級者数の関係はどうか。 ・50 日以上欠席者が小学生 6 名、中学生 32 名の計 38 名で、うち 7 名が通級している。 ・ふれあいるーむとサテライトの利用状況はどうか。 ・ふれあいるーむは毎日 2、3 名が利用、サテライトも毎週活動している。 ・地域おこし協力隊 2 名の関わり方はどうか。 ・総合政策課所属で週 2、3 日程度協力している。 ・児童生徒と一緒に絵を描いたりスポーツをしたりしている。
委員 2 番 吉田 指導参事 瀬川 教育部長 干場 委員 8 番 田村	・ふれあいるーむの開設目的は何か。 ・子供が自主的に学べる環境整備と学習機会提供である。 ・利用者のプライバシーに配慮した場所選択が重要で、利用者の意見を聞きながら改善していく。 ・放課後子供教室のサポーター謝礼算出方法と事業展開について確認したい。

生涯学習課主幹 恒川	・パートタイム会計年度任用職員の時給表を参考にしている。国・道各 3 分の 1 補助でふるさと応援基金 160 万円を充当。今後は地域の協力を得て必要に応じて協議していく。
委員 2 番 吉田	・放課後子供教室は児童館がない地域への設置か。
生涯学習課長 立澤	・そのとおりである。人員不足の課題については現場の声を聞きながら検討していく。
委員 4 番 伊勢	・尾岱沼地区では孫が大変お世話になっており、今後も存続・充実を図ってほしい。
委員 13 番 中村	・各地区のコーディネーター・サポーター人数と児童数はどうか。
生涯学習課主幹 恒川	・尾岱沼はコーディネーター1名・サポーター13名で児童50名、上風連はコーディネーター1名・サポーター9名で児童19名である。
教育部次長 角川	・GIGA スクール運営支援の令和 6 年度実績は窓口相談 395 件、チャット相談 1,332 件。令和 7 年度は 570 回の出勤を見込んでいる。
委員長 9 番 外山	・以上で第 1 回福祉文教常任委員会を終了する。
委員長 9 番 外山	14:29 閉会